

# けやき 1 組生活単元学習指導案

期 日 平成 29 年 9 月 29 日 (金)  
児 童 3 年男子 3 名 4 年男子 1 名  
5 年女子 1 名 計 5 名  
指導者 山 本 太

## 1 単元名 八幡平カレーを作ろう

## 2 単元の見積

楽しみながら買い物やカレー作りに取り組み、野菜を育てることや感謝の気持ちを伝えることの素晴らしさを味わうことができる。

## 3 単元について

### (1) 題材について

本単元は、年間を通して取り組んでいる生活単元学習「食べ物を育てて食べよう」の中の小単元である。生活単元学習において集団生活への参加に必要な態度や技能を養うとともに、自分と身近な社会や自然とのかかわりについて関心を深め、自立的な生活をするための基礎的能力と態度を育てることが大切である。児童は春にさまざまな野菜を植え、草取りや水やりをしながら観察をしてきた。自分たちの手で育て収穫した野菜を使って、カレーを作って食べることをとおして、育て収穫することの喜びと大切さを味わわせたい。

また、「買い物」は、お金を店に支払うことにより、欲しい品物を手に入れることができる行為である。そこで、お金の認識・価値・単位・数え方が必要になり、これらができる初めて自立した買い物ができることになる。日常生活を送るうえで、お金を扱うことは、必要不可欠である。お金と買い物に対する理解を深め、知識だけではなく、実際にこの学習で身につけたことを日常生活の中で使えるようにしていきたい。

### (2) 児童について

本学級は、知的障がい特別支援学級であり、3 年男子 3 名 (A～C 児)、4 年男子 (B 児)、5 年女子 (E 児) が在籍している。5 人の特性は様々で、能力差が大きく、どの活動においても個に応じた支援が必要である。

児童は、家の人と一緒に買い物や調理の経験に個人差があり、買い物の仕方や調理の仕方や道具の使い方について十分に理解しているとは言えない。そこで、生活単元の学習として、興味関心に根ざした主体的な活動を展開していけば、金銭の取り扱いや調理の仕方に慣れ、集団で力を合わせて活動する経験を重ねることにより、社会への適応の大きな自信になるだろうと考える。

また、買い物や調理・食事会を通して言語活動を充実させながら、コミュニケーションの取り方、場に応じた言葉づかいなどを身につけさせたい。

児童の生活・学習の様子は次のとおりである。

3 年 A 児	<ul style="list-style-type: none"><li>・視覚優位で、見たことをまねて学習することを好む。</li><li>・家族と一緒に買い物に行くが、支払いを自分でしたことがほとんどない。</li><li>・意欲的に作業するが、細かい作業は苦手である。</li></ul>
3 年 B 児	<ul style="list-style-type: none"><li>・まわりの児童のよいところを伝えることができる。</li><li>・家族に頼まれた物を買ってきたことがある。</li><li>・作業に時間がかかるが、最後までやりとげようとするよさある。</li></ul>
3 年 C 児	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の思いを表現することが苦手である。</li><li>・家族でよく買い物に行き、自分で支払うこともある。</li><li>・作業は素早くできるが、ていねいさに欠けるところがある。</li></ul>
4 年 A 児	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の思いを表現することが苦手で、言葉づかいが粗暴な時がある。</li><li>・買い物に行くことはあまりない。</li><li>・作業は素早いですが、少し経つとやり方を忘れることがある。</li></ul>

5年A児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まわりの児童のよいところを伝えたり教えたりすることができる。</li> <li>・家族でよく買い物に行き，自分で支払うこともある。</li> <li>・作業の仕方をすぐに理解するが，左手がうまく使えない。</li> </ul>
------	---

### (3) 指導にあたって

#### ①見通しの工夫

学習の内容と学習の流れがはっきり分かるように単元・単位時間の学習の過程や具体的な活動を位置付けた学習計画を提示する。

水のかさが不適量なカレーと適量のカレーを試食しておいしいカレーを作るために正しい水のかさを量ることが大切であることや、「お世話になった人に感謝の気持ちを伝えるためにおいしいカレーを作る。」ということ意識させ、活動意欲と見通しを持たせるようにしたい。

#### ②学び合いの工夫

児童を二手に分け，売り手，買い手となり，お互いに役割を交代してごっこ遊びをすることを通し，買い物の手順や話し方を理解させたい。

絵カードを使って，どんなことに気をつけてどのように水を入れたり移したりしたのか分かりやすく伝えるようにして，互いの考えを交流できるように工夫する。水のかさのただし「量り方」「移し方」「計算の仕方」という視点を与えて，必要な水のなべに入れる方法について話し合うようにさせる。

#### ③振り返りの工夫

「がんばったこと」「友達のよかったところ」「次にやりたいこと」など振り返りの視点を明確化することにより，互いのよさを認め合い，成就感や自己肯定感，次の学習への意欲を高めるようにしたい。

招いた人たちからの感想カードをもとにして単元の振り返りをおこない，作って食べるという満足感だけでなく，感謝の気持ちを伝えることやまわりの人に認めてもらえる素晴らしさを味わわせるようにしたい。

## 4 指導計画

小単元	時	主な学習内容	評価の観点
オリエンテーション	1	・けやき特製八幡平カレーを作り，食事会をすることを知り，学習計画を立てる。	関
買い物をしよう	2	・買い物の計画を立てる。	考
	3	・買い物の手順を知る。	知
	4	・買い物ごっこをする。	技
	5	・買ってくる材料を確認し，どこで何をかうか考える。	考
	6	・買い物の日程を考える。	考
	7	・持ち物と日程を確認する。	知
	8・9	・買い物をする。	技
カレーを作ろう	10	・調理・食事会の計画を立てる。	考
	11	・招待状を書く。	技
	12	・調理に使う道具の名前を知る。	知
	13(本時)	・正しい水のかさをはかる方法について理解することができる。	知
	14～16	・八幡平カレーを作り，食事会をする。	技
まとめ	17	・振り返りをする。	考

5 本時の指導

(1) 目標

おいしいカレーを作るために、正しい水のかさの量り方について考えることができる。

(2) 展開

段階	主な学習活動 ◎主発問	○学習活動 ・指導上の留意点			評価
		3年A児	3年B児・C児	4年D児・5年E児	
つかむ 5分	1 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢を確認させ、いい声で学習が始められるようにする。</li> </ul>			
	2 今日の学習活動の内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習計画表を提示して前時まで学習したことと、本時に学習することを確認する。</li> <li>水のかさが不適量なカレーと適量のカレーを試食し、おいしいカレーを作るために正しい水のかさを量ることが大切であることを気づかせる。</li> </ul>			
	おいしいカレーを作るためになべに正しいかさの水を入れよう。				
考える	3 身支度をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エプロン・マスク・帽子を身につけ、手を洗う。</li> <li>・実際に料理をする時のことを想定して、ほこりやごみが入らないようにすることや落としたりこぼしたりしないなど衛生面や安全面について気をつけることを考えさせる。</li> </ul>			
	4 道具の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道具を確認して、準備する。</li> <li>・必要な道具を一緒に確認して、並べるように支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○必要な道具を確認して、準備する。</li> <li>・準備した物が正しいかペアで確認するようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○必要な道具を確認して準備する。</li> <li>・準備した物が正しいかペアで確認するようにさせる。</li> </ul>	
	5 必要なかさの水をなべに入れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○入れ物に入った水をなべの目盛がついたところまでに移す。</li> <li>・こぼさずに入れるように支援する</li> <li>・カップ何杯分入るか一緒に数えながら水を入れるようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○必要な水をカップで量ってなべに入れる。</li> <li>・必要な水は、カップ何杯分か考えるように支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○12人分作るのに必要な水のかさを計算して、なべに入れる。</li> <li>・小数のたし算かかけ算を使って計算することを支援する。</li> </ul>	

考える 3 5 分	6 どのように水を入れたのか発表する。	<p>〈学び合いの工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなに分かるようにするために、絵カードを使って、どんなことに気をつけてどのように水を入れたり移したりしたのか発表するようにさせる。</li> </ul>
	7 正しいかさの水の入れ方について話し合う。 ◎ おいしいカレーを作るために正しいかさの水を入れるには、どうすればいいのかな。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水のかさの正しい「量り方」「移し方」「計算の仕方」という視点を与えて、必要な水のなべに入れる方法について話し合うようにさせる。</li> <li>・それぞれの方法の中から、よい方法を見つけるようにすることで、満足感を味わい互いに認め合うようにしたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>正しいかさの水をなべに入れる方法について理解することができたか。 (観察・発表)</p> </div>
	8 みんなでなべに正しいかさの水を入れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんなことに気をつけるのか」めあてを確かめさせる。</li> </ul>
まとめる 5 分	9 振り返りをする。	<p>&lt;振り返りの工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの視点を与えて、互いのよさを認め合い、成就感や自己肯定感、次の学習への意欲を高めるようにする。</li> </ul>
	10 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢を確認し、いい声で学習が終われるようにする。</li> </ul>

(3) 評価規準

おおむね満足できる	支援
正しいかさの水をなべに入れることが理解できる。	絵カードを用いて、正しいかさの水の入れ方を具体的に理解できるように支援する。

(4) 板書計画

